

編集 後記

編集顧問 町田 豊平
編集委員 郡 健二郎

小川 秋實 秋元 成太 村井 勝
藤岡 知昭 大家 基嗣

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年 10 月 22～24 日、岩手医科大学産婦人科学講座教授の杉山徹先生を会長に、「第 47 回日本癌治療学会学術集会」がパシフィコ横浜を中心に開催されました。

この学術集会のテーマは、「がん治療への目線 Perspectives of Clinical Oncology」であり、医療者、患者、行政、企業、マスコミとの協業により互いを知り、それを共有することで、将来の医療環境の整備につなげることを意図されておりました。

目新しい企画として、Patient Advocate Lounge に注目しました。これは、がん患者・支援者を対象とした本邦初の養育企画であり、患者団体などを通じて応募があった 105 名から選考された 50 名のキャンサーサバイバーが、杉山会長のオリエンテーションの後、各自自由に各口演を聴講し会場ポスターを閲覧できるようにしたもので、患者団体と医療者のお互いの共同作業に向けた取り組みでした。いつもの学術集会の聴衆とはいささか異なった人々を各会場でみかけました。

また、患者側の目線として立花隆氏の招請講演がありました。立花氏は 2007 年 12 月に膀胱癌と診断され、現在は寛解期にあるとの認識のようでした。冒頭「がんは極めて望みの薄い疾患であることを医師は患

者に伝えていない」と述べ、国内外の多くの取材から「がんの正体は、こんなにもわかっていない」ことに驚愕し、「数年先の近未来において画期的な新薬や治療法によるがん克服はありえない」とお叱りをうけました。医師は治療を、一方の患者は自分らしく生きることを優先するので、「いたずらに希望を与えるのではなく、残された可能性の最良と最悪の幅を正しく教えてほしい」と刺激的な言葉で締めくくられました。「自覚症状なし」「危機感なし」「がんばるつもりなし」の姿勢であった立花氏は、術後再発予防の膀胱内注入療法有害事象に大いに悩まれたそうです。泌尿器科医にとって少し耳の痛い反省させられる講演でした。

さて、今月号の特集は「泌尿器腫瘍と機能温存手術—スタンダードテクニックとピットフォール」で、副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺、精巣および陰茎について、それぞれのエキスパートが臨床に役立つように解説している読み応えのある特集号です。その他、消化管間質腫瘍と膀胱憩室扁平上皮癌の症例報告が 2 編、重複下大静脈に関する画像および腹膜透析カテーテルに関する小さな工夫がそれぞれ 1 編で構成されています。

今年も「臨泌」、宜しく願いいたします。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第 64 巻 第 1 号) (通巻 760 号)
2010 年 1 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)

2010 年 年々ぎめ予約購読料 41,360 円
電子ジャーナル閲覧オプション付 53,800 円
増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当: 登・安部)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- 【JCOPY】<創出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(創出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。